

被災地におけるアルコール関連問題対策の推進について

ー減酒支援の取組ー

仙台保健福祉事務所岩沼支所 地域保健班 ○技 師 伊禮 嘉宣
主任主査 氏家 晃子

Key words:アルコール、ブリーフ・インターベンション、2 次予防

I はじめに

不適切な飲酒はアルコール健康障害の原因となり、飲酒運転、暴力、虐待、自殺などの様々な問題にも密接に関連する¹⁾。被災地では東日本大震災により甚大な被害を受け、身近な人の死別、財産や仕事の喪失、将来に対する不安等により被災した住民のアルコール問題が顕在化してきている^{2) 3)}。アルコール依存症者が専門治療を受け、地域で見守り、断酒会など自助グループにつなげることはとても重要なことであり、当所においてもアルコール専門相談を今年度から実施してきたところである。当所管内市町では、被災者の健康調査で K6 に加え「多量飲酒」や「朝から飲酒」等を要支援者として把握し、アルコール依存症者には個別支援や断酒会の支援等対応しており、アルコール関連問題への意識が高い。しかし、アルコール依存症には至っていない多量飲酒者に対して介入する経験が少なく、当所へ早期介入についての要望も多くなってきた。そこで、被災者支援や特定保健指導等でのスクリーニングと減酒指導の促進を図ることを目的とした減酒支援の取組を行ったので報告する。

II 活動内容1. HAPPY⁴⁾ (Hizen Alcoholism Prevention Program by Yuzuriha) 【以下 HAPPY】を使用し早期介入・指導の取り組み

(1) HAPPY プログラムを使用した個別支援

家族から多量飲酒により体調が悪く、飲酒運転が心配なのでどうにかしたいと町に相談あり、町の保健師と共に無職の男性 73 歳に介入。介入前は肝機能異常、高血圧あり。3 回の介入の結果 2 ヶ月後全て正常値になった。現在は断酒し不眠や ADL 改善し、家族関係も良好になった。他 4 名にも介入し 3 名に減酒の効果が得られた。

(2) HAPPY プログラムを使用した集団支援

市と心のケアセンターから依頼があり、健康サロン（節酒の会）にて男性 4 名に介入。1 回目は減酒の目標をそれぞれに設定。2 回目の応用篇に 3 名が参加し、全員年末年始に飲酒量の増加を防ぐことが出来、今後の減酒についても前向きであった。新規の HAPPY 受講希望者も 2 名おりプログラムの継続も見込まれる。

2. 多量飲酒者への関わりを中心としたアルコール関連問題対策研修

アルコール関連問題対策研修として被災者支援を担当するサポートセンター職員、保健師等を対象に 2 回実施。1 回目は「専門治療が必要な方への対応の仕方」と題し、AUDIT⁵⁾ (Alcohol Use Disorders Identification Test) 【以下 AUDIT】の使用方法和、飲酒をコントロールできない状態になった対象者への早期発見・早期介入について研修し、約 30 名の参加があった。2 回目は「早期介入における節酒支援のメリット」と題し、多量飲酒者への介入として AUDIT の活用事例と効果、特定健診からの減酒指導への入り方を研修し、約 80 名の参加があった。

III 考察

岩沼支所管内では被災者支援や精神保健活動について、市町と連携を図り、ニーズの把握に努めながら支援を行っている。その中で、アルコール関連問題対策としてアルコール依存症者を中心に支援していたが、2 次予防の視点から個別支援及び集団支援を実施したところ、対象者の減酒への行動変容が見られた。また、管内市町の支援者に AUDIT 等ツールの具体的な使用方法と HAPPY を使用したブリーフ・インターベンションについて研修を行ったところ、多くの被災者支援を行っている方々が参加し、スキルアップを図ることができた。被災者支援は、災害公営住宅への入居が進み、通常業務の中で関わる事も多いことから、ハイリスクアプローチからポピュレーションアプローチが必要な時期にきていると推察され、アルコール依存症者の支援と共に、減酒支援を中心とした 2 次予防を進めることでメンタルヘルス対策だけでなく、健康増進にも繋がると考える。

IV 結論

被災地では、サポートセンターの見守り活動や健康調査が繰り返し行われていることで、アルコール関連問題が顕在化しており、多くの支援者が支援に携わっていることから、支援者がブリーフ・インターベンションを理解し、介入方法を学ぶことで効果的に介入でき、重症化を防ぐことが出来ると考える。

V 引用・参考文献

- 1) 内閣府 (2015) 「アルコール健康障害対策基本法の概要」
- 2) 宮城県健康推進課 「平成 26 年度 被災者特別健診結果」
- 3) 塩釜保健所 (2015) 「ライフステージから見た仙台保健福祉事務所内の健康課題の概要」
- 4) 肥前精神医療センター (2014) 「アルコール問題早期介入のストラテジー-HAPPY プログラム使用マニュアル」
- 5) WHO (2001) 「The Alcohol Use Disorders Identification Test: guideline for use in primary care, AUDIT, second edition」